

徳島地方気象台長からのごあいさつ

徳島地方気象台ホームページをご覧いただきありがとうございます。

4月から徳島地方気象台の台長を務めさせていただいております天満 仁（てんまひとし）でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

徳島県は、私の故郷であるとともに気象庁に入庁して、初めての勤務が県のシンボル「剣山」の山頂にあった剣山測候所（平成13年に廃止）であり、この徳島県は私にとって思い出が非常に多い場所です。徳島での勤務は今回で3度目となります。

さて、気象災害に目を向けますと、昨年の九州北部豪雨に見られますように、近年、雨の降り方が局地化・集中化・激甚化しており、毎年日本のどこかで大きな災害をもたらせる豪雨が発生しています。この徳島県においても、いつ豪雨となっても不思議ではありません。また、南海トラフ巨大地震をはじめ中央構造線断層帯等の甚大な被害を引き起こす地震や津波災害への対応についても、日頃からの備えが重要です。

これら自然災害から皆さまの身を守っていただけるよう適切に防災情報を提供してまいります。そして、地域に密着した気象台として、職員一丸となって取り組んでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



平成30年 4月17日

徳島地方気象台長

天満 仁